

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【会津若松市立荒館小学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ Ⅲ ・ Ⅳ ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生 227名 第4学年 51名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習) ② その他 (学級活動)
4 目標 (ねらい)	微笑みの国タイとの交流により、他国を知るとともにわたしたちの生活を振り返ることができる。
5 取組内容	<p>【 5月】校内推進委員会の設置 ・事業計画の立案 ・推進テーマの正式決定 ・講師の選定と交渉、日時の決定等 ・講師派遣申請の提出</p> <p>【 6月】環境整備と意欲喚起 「タイを応援しよう！ホストタウン会津若松市」 ①児童昇降口等にノボリの設置 ②校内放送</p>  <p>【 6月】総合的な学習の時間 講話：「タイってどんな国？～タイのくらしや文化～」 講師：日タイ友好協会 会員様 時間：14:00～14:4</p> 

【 6月】「オリンピックトーチがやってきた！校内トーチリレー」
①学級ごとに撮影 ②学年便り・HP 等で紹介



【 7月】総合的な学習の時間
体験：「タイの選手に応援メッセージを送ろう！」
※NHK ホームページ参照、編集は市スポーツ推進課

【 8月】総合的な学習の時間
調査：「タイってどんな国？比べてみよう日本の暮らし」

【10月】総合的な学習の時間
発表：オリパラ教育に関する発表を行う。



6 主な成果

○本物のオリンピックトーチに触れることができたことは貴重な体験となった。特に、オリンピックトーチはパラリンピックで実際に使用するものであり、スポーツを通して自己実現を目指す障がい者の存在を知ることができた。

○本推進事業を通して、講演や調べ学習を行った第4学年児童だけでなく、学校全体でタイという国に興味を持つことができた。また、日本とつながりのある主要国だけでなく、世界には様々な文化を持った国があることを知ることができた。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>① 「タイを応援しよう！ホストタウン会津若松市」 児童昇降口等にノボリを設置したり校内放送によってタイと会津若松市との関係を紹介したりして、児童の興味・関心を高めた。</p> <p>② 「タイってどんな国？～タイのくらしや文化～」 4年生の総合的な学習の時間を使って、日タイ友好協会の地域の代表の方をお招きし、日本とタイの関係について具体的に紹介していただいた。映像資料が効果的だった。</p> <p>③ 「オリンピックトーチがやってきた！校内トーチリレー」 校内トーチリレーの様子を学級ごとに撮影し、学級便りやHP等で紹介することで、保護者や地域に活動内容を広めた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○活動目的や取組内容等、全体を見通して計画することが大切であった。今後、このような機会があれば、児童の興味・関心や意識の変化に合わせた活動を仕組んでいくことが充実した学習につながる。</p> <p>○コロナウイルス感染予防のためタイの選手との交流を行うことができなかった点があげられる。インターネットを使っての応援メッセージを作成する等、異なる方法で対応したが、憧れや実感を持って応援することは難しかった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○今回の事業は、市担当部署や国際交流協会等との協働により行うことができた。この「face to face」の関係を次年度以降生かしていきたい。</p>